

II 実践編

3 はまっ子防災教室 ※はまっ子防災教室実施要領を確認してください。

(1) 実施メニュー

実施メニュー		概要	備考
必須項目	火災	○初期消火器具取扱い訓練 ○防災講話	<ul style="list-style-type: none"> ・よこはま防災e-パーク ・はまっ子防災アニメ ・はまっ子防災ガイド ・あんしん救急テキスト ・あんしん救急投影資料 ・水災害体験(よこはま市民防災センター)
	地震	○救助訓練／搬送法 ○防災講話	
付加項目	火災	○消火器取扱い訓練 ○煙体験 ○119番通報要領	
	地震	○起震車体験 ○DIG・HUG	
	風水害	○マイ・タイムラインの作成 ○DIG・HUG	
	救急	○応急手当 ○あんしん救急	

Ⅱ 実践編

(2) 説明要領

※ 参考例文になりますので、適宜修正してください。

例として「消火器の取扱い方法」について記載します。他の説明要領については、プログラム一覧を参照にしてください。

説明例文

みなさんこんにちは。〇〇消防署(消防出張所)の〇〇です。

本日は、消火器の取扱い方法について説明します。よろしくお願いします。

みなさんは万が一に備えて消火器を準備していますか？消火器を準備していても、使い方がわからない方やうまく使える自信のない方は多いと思います。

消火器の使い方はとても簡単ですので、いざという時、正しく使えるように消火器の使い方について覚えておきましょう。

消火器の中には粉や液体が入っていて、燃えている物にかけて火を消すことができます。今回は訓練ですので、訓練用の水消火器を使用します。消火器の使用方法ですが、消火器を使う前にもし火災を見つけたら、大きな声で「火事だー」と叫びましょう。この声を聞いた人は119番通報や避難誘導を行うようにしましょう。火災の発生を近くの人に知らせた後に初期消火を行います。まずは、消火器を燃えている物の3～5m手前に運びます。消火できなかった時のことを考えて、退路を確保しておきましょう。消火器の操作方法のポイントは、「き・ほ・ん」です。まず最初に「き」、黄色いピンを抜く、次に「ほ」、ホースを外して火元に向ける、最後に「ん」、んーとレバーを握ります。レバーを握るのが難しい場合は、消火器を置いて体重をかけて使用します。消火するときには、噴射している粉や液体を炎に感わされず、燃えている物に向かってほうきをはくようにしてかけてください。(消火器の噴射時間は消火器の種類や薬剤の量により異なりますが、粉末消火器で15秒程度、強化液消火器で30秒～70秒程度)ただし、消火器で消せるのは小さな火だけです。天井に届くような大きな火は、消火器では消せません。もしそうってしまったら、消火はあきらめて逃げるようにしましょう。消火用具には、皆さんがよく知っている消火器以外にも、家庭内で発生する天ぷら油や石油ストーブ等の比較的初期段階の火災に対し有効なエアゾール式簡易消火器や火災の熱を感知して消火薬剤を噴射する自動消火装置などもあり、消火器とセットで備えておくと更に安心です。消火器本体には、安心して使える期限が表示されています。住宅用消火器は期限は約5年とされています。期限が過ぎたら新しいものと交換しましょう。消火器は使用期限ないであったとしても、いざという時に使えなければ、意味がありません。半年に一度は腐食や劣化などがなくチェックをしましょう。また、定期的に使い方について訓練を行いましょう。

説明は以上になります。ありがとうございました。

II 実践編

(3) 参考資料

教材等	内容	備考
よこはま防災e-パーク (外部サイト)	動画やミニテストなどのデジタル教材により、防災について学ぶことができます。	参考リンク： よこはま防災e-パーク 学習動画一覧、子ども(学習コンテンツ)
はまっ子防災アニメーション		各中学校で放映可能です。
はまっ子防災ガイド	横浜市監修の「はまっ子防災ガイド」は襲ってくる災害に特化した内容で、3章から構成されていて各章を各学年で使用することで3年間使用できます。1、2年次は理科単元、3年次は道徳単元など、クロスカリキュラムで防災が学べる仕組みになっています。	参考リンク： はまっ子防災プロジェクト (外部サイト) ※市内の公立中学校1年生に教育委員会を介して配布されます。 参考リンク： よこはま防災e-パーク ※子ども⇒はまっ子防災教室⇒はまっ子ガイド
初期消火器具 (横浜市ホームページ)	初期消火器具の取扱いマニュアルや補助事業について記載しています。	参考リンク： よこはま防災e-パーク 学習動画一覧、子ども⇒はまっ子防災教室
119番通報 (横浜市ホームページ)	119番通報のかけ方、LIVE映像通信システム(映像119)などについて記載しています。	参考リンク： 119番通報
火災からの避難 (横浜市ホームページ)	命を守るための避難行動のポイントを紹介しています。	参考リンク： 火災からの避難
応急手当の方法など (横浜市ホームページ)	AEDを使用した心肺蘇生法や消防車の搬送法など、災害時に必要な応急手当について記載しています。	参考リンク： 応急手当の方法など